



往生山だより

◇◇ なわとび記録会に向けて ◇◇

なわとび記録会がいよいよ来週に迫りました。

これまでに、朝の時間や大休憩、更に放課後を利用して練習に取り組んで来た子ども達。当日は上学年と下学年がペアを組んでの記録会となります。(1・6年 2・5年 3・4年)

種目は、各学年の発達段階に応じたものですが、どの学年も必須競技として行うものが、個人競技の短なわの両足跳びと団体競技の長なわ8の字跳び。

それぞれの目標値は以下の表の通り。



短なわ	1・2年 (1分)	長なわ	1・2年 (30回)
	3・4年 (2分)		3・4年 (60回)
両足跳び	5・6年 (3分)	8の字跳び	5・6年 (90回)

中でも、長なわには力が入ります。子ども達はもちろんですが、担任も熱く燃えています。

チームワークが問われる競技なだけに、まとめのこの季節にクラスを団結させる大切な取組となるからです。

現在、少人数の良さか!? 息ぴったりの4年生が目標回数を大幅にクリア。次は6年生、さすがに最高学年、好記録を連発させています。学習発表会での底力がいつ表れるか期待大は5年生。2年生、3年生も目標までもう少し、順調に回数を伸ばしています。1年生は、ここに来て長なわにも慣れ、跳べるようになった子ども達が日に日に増えてきました。

さて、本番はどうでしょうか? 乞うご期待!

	①	②	③	④	
1年	11回	11回	回	回	体育館の表
2年	25回	26回	回	回	
3年	50回	54回	39回	57回	
4年	66回	72回	96回	回	
5年	42回	66回	64回	81回	
6年	97回	83回	91回	86回	

福は内・鬼も内

2月1日(金) 全校生による豆まき集会在盛大に行われました。

今年の年男、年女の6年生と5年生が、ステージ上から大きなかけ声と共に豆を蒔くと、一斉に群がる子ども達。

会のはじめに、校長より豆まきの謂われについて簡短に説明を加えました。

旧暦ではこれからが新しい年の始まりとなること、昔、災いは全て鬼が原因と考えられていたこと、その鬼を退治するために豆を蒔くこと、でも本当の鬼は心の中にあること...等々。

「福は内、鬼も内」内なる鬼をしっかりと追い払いました。よい春が来そうです。

